

高校生を対象とした公開授業科目(第2学期)～2025年度版～

授業科目名	授業の概要	教養/ 専門 教育	担当教員	期間	曜日	時間
法学A【口】	日本国憲法を中心に、国際法との関わりにも触れながら講義を行います。授業では、次の3つのテーマを扱います。第一に、国内社会と国際社会における法の仕組みについてです。第二に人権保障について、第三に統治機構について扱います。	教養	杉木 志帆 (教育学部)	10月2日～2月5日 (計15回)	木	16:20～17:50
政治学	現代政治学における主要なトピックを取り上げつつ、政治学の基本的な概念や理論を学ぶことが本講義の課題である。本講義では日本政治を主要な事例として、自由民主主義体制が直面するさまざまな問題を取り扱うが、それらはあくまでも学問的な考察の対象であり、時事評論のそれではない。政治的イデオロギー、官僚、政治家、国会、政党、選挙、ジェンダー、安全保障、ポピュリズムなど、多様な問題群を通じて、基本的な政治学の考え方を習得することが目標である。	教養	藤井 篤 (法学部)	12月4日～2月12日 (1日2回、計15回)	木	18:00～19:30 19:40～21:10
生物学	本講義では、「生態学」と呼ばれる学術分野、および生態学に深く関連する分野の概要について、広く紹介します。具体的には、生物のありようの把握の仕方、生物がくらす地球の環境の概要、生物同士の関わり方、生物の種の誕生と絶滅のメカニズム、生態系の保全に対する考え方、それぞれの一部について概説します。	教養	小宅 由似 (創造工学部)	10月7日～12月2日 (1日2回、計15回)	火	18:00～19:30 19:40～21:10
国際協力論A	この授業では、21世紀の社会の諸課題として開発途上国が抱える貧困、環境など一国だけでは解決できない課題（地球規模課題）を取り上げます。開発途上国における「持続可能な開発目標(SDGs)」の概要、SDGsに挙げられている様々な地球規模課題の例を取り上げ、課題の解決のために日本と国際社会が行う国際協力／開発協力の取り組みについて解説するとともに、私たち地球市民として何ができるのか共に考えていきます。	教養	木下 康光 (インターナショナルオフィス)	10月2日～11月27日 (計8回)	木	16:20～17:50
国際協力論B	授業では、21世紀の社会が抱える諸課題として、開発途上国が抱える課題を地域・国ごとに取り上げ、その解決のために日本／国際社会が行う国際協力／開発協力の実践を解説するとともに、地球市民としてどのように国際協力／開発協力に関わっていくことができるのか共に考えていきます。	教養	木下 康光 (インターナショナルオフィス)	12月4日～2月12日 (計8回)	木	16:20～17:50
子どもの視座から教育を考える	この授業では、21世紀社会の諸課題として教育問題を取り上げます。まず、我が国の戦後教育の変遷を理解します。その上で、今日的な教育課題でもある3つの教育問題（子ども論、教師論、部活動論）に焦点を当て、資料（文献・新聞記事）を精読するとともに、グループで話し合うことを通して、子どもの視座に立つ本質的な「課題」を導き出していきます。	教養	山岸 知幸 (教育学部)	12月4日～2月12日 (計8回)	木	16:20～17:50
知ブラe科目 データサイエンスを活用した防災・危機管理	本講義では、自然災害の軽減を念頭にデータサイエンスによる防災・危機管理のあり方と、地域における災害に対する安全・安心について担当教員がそれぞれの専門分野から説明する。	教養	野々村 敦子 他 (創造工学部)	10月2日～12月2日	-	-
知ブラe科目 レジリエントな社会の構築とコンピューターシミュレーション	本講義では、レジリエントな（強靱化）社会構築におけるコンピューターシミュレーション活用事例を挙げ、その重要について担当教員がそれぞれの専門分野の立場から説明する。	教養	岡崎 慎一郎 他 (創造工学部)	10月2日～12月2日	-	-
知ブラe科目 災害とデータサイエンス	防災に活用できる科学的なデータとしては、災害に関するデータとそれを観測・分析するテクノロジーについて、災害前（災害が起こっていない日常の時点と、災害が起こる直前）と災害後（直後、そして救命や電気や水道等ライフライン復旧が求められる事後）という2つのステージでの議論が重要である。本講義では、こうした「災害」に係るデータの活用方法について担当教員がそれぞれの専門分野から説明する。	教養	石塚 正秀 他 (創造工学部)	10月2日～12月2日	-	-
憲法入門	法学部では、憲法科目として、1年次に総論（憲法入門）、2年次前期に統治論（憲法Ⅰ）、2年次後期に人権論（憲法Ⅱ）が開講されている。総論分野を扱う本授業では、憲法の基礎理論を概観したのち、日本国憲法の歴史及び基本原理（国民主権・象徴天皇制、平和主義等）について判例・学説を通じて理解を深めるための授業を行う。	専門	岸野 薫 (法学部)	10月2日～2月5日 (計15回)	木	16:20～17:50
政治思想	19世紀から20世紀終わりまでの政治思想、経済思想を扱う。「政治思想」という科目名なのに経済思想も併せて扱うのは、そうしないとこの時代を理解することは不可能だからである。前半は政治思想、後半は経済思想を中心に講義する。	専門	金子 太郎 (法学部)	10月3日～1月30日 (計15回)	金	16:20～17:50
国際関係論	第二次世界大戦終結以後、東西冷戦を経て成立した現代の国際秩序は、いまだに挑戦にさらされている。これからの国際社会そして日本はどのように動くべきか。また国際社会を構成する国民国家の一市民として、この状況をいかに理解すればよいのか。以上の問題意識に基づいて、本講義では国際関係論の基礎的な内容を、理論と歴史を包括しつつ紹介していく。	専門	鶴園 裕基 (法学部)	10月6日～2月2日 (計15回)	月	16:20～17:50
法学入門 (夜間主コース)	この授業は、田中成明「法学入門」（第3版）を通読することにより、法学全般に共通する基礎的事項を学習します。	専門	山本 陽一 (法学部)	12月8日～2月9日 (1日2回、計15回)	月	18:00～19:30 19:40～21:10
経済学入門A (夜間主コース)	ミクロ経済学の基本的な考え方を解説します。ミクロ経済学とマクロ経済学は経済学という学問の立場から様々な問題を分析する際の最も基本的な考え方です。マクロ経済学が一国の景気状況や失業率など経済全体の活動に注目するのに対して、ミクロ経済学は経済を構成する個々の企業や家計の行動に注目します。そして個々の経済主体の行動（最適化）と相互依存関係を考慮して、モノやサービスの市場や産業を分析します。	専門	星野 良明 (経済学部)	10月3日～11月28日 (1日2回、計15回)	金	18:00～19:30 19:40～21:10

夏の体験授業

授業科目名	開設学部	期間	曜日	時間
科学・技術の面白さを体験しよう	創造工学部	7月23日(水)～7月25日(金)	—	午前の部：10:00～13:00 午後の部：14:00～17:00
農学部サイエンスアドベンチャー2025 ～知っているようで知らない「農学部の研究」～	農学部	8月8日	金	10:00～11:00 研究室紹介 11:00～12:00 施設探検

香川大学では高校生を対象に授業を公開します。
 本学の学生と一緒に受講することで、香川大学への興味を深めたり、知的刺激や進路選択に役立ててください。

URL <https://kagawa-u.ac.jp/cooperation-community/course/20433>

